

< 松野幸昭氏略歴 >

氏名 まつの ゆきあき
松野 幸昭

< 公選職等歴 >

岐阜県議会議員 昭和50年 4月～平成 2年 2月
平成 3年 4月～平成15年 6月(8期 27年)
同 副議長 平成 5年 5月～平成 6年 5月(1期 1年)
同 議長 平成 8年 5月～平成 9年 5月(1期 1年)

委員長歴 総務委員会、企画経済委員会、厚生委員会、農林委員会、国際化対策特別委員会、
情報技術通信技術対策特別委員会、議会運営委員会、決算特別委員会

岐阜県監査委員 昭和63年 5月～平成 元年 5月

審議会歴 岐阜県青少年保護育成審議会会長
水と緑の国際交流基金助成検討委員会委員
岐阜県観光審議会委員
岐阜県総合開発審議会委員
岐阜県農業地域工業導入促進審議会委員
岐阜県職業訓練審議会委員
岐阜県児童福祉審議会委員長
岐阜県農政審議会委員
岐阜県屋外広告物審議会委員
岐阜県都市計画地方審議会委員
徳山ダム建設事業審議会委員

< 団体歴 >

北方領土返還要求運動岐阜県民会議会長 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)
財団法人岐阜県国際交流センター理事 平成 7年 6月～平成 8年6月(1年0月)
同 副会長 平成 8年 6月～平成 9年5月(11月)
財団法人岐阜県中小企業振興公社理事 昭和51年 5月～昭和52年3月(10月)
同 昭和57年 5月～昭和58年5月(1年0月)
同 昭和59年 5月～昭和60年5月(1年0月)
同 平成 6年 5月～平成 8年5月(2年0月)
同 平成 9年 5月～平成10年5月(1年0月)
財団法人岐阜県産業経済研究センター副理事長 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)
財団法人岐阜県いきがい長寿財団副会長 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)
社会福祉法人岐阜県福祉事業団理事 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)
財団法人岐阜県農業公社理事 昭和52年 4月～昭和53年5月(1年1月)
岐阜県漁業協同組合連合会理事 昭和63年 5月～平成15年5月(15年0月)
同 副会長理事 平成 7年12月～平成15年5月(7年5月)
長良川漁業協同組合代表理事 昭和61年 2月～平成15年5月(16年3月)
財団法人岐阜県企画設計センター理事 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)
岐阜県土地開発公社理事 平成 4年 5月～平成 5年5月(1年0月)
財団法人岐阜メモリアルセンター理事 平成 8年 5月～平成 9年5月(1年0月)

< 表彰歴 >

昭和57年12月10日 岐阜県知事表彰(県議会議員7年以上)
昭和60年 5月 3日 岐阜県知事表彰(地方自治功労)
昭和60年11月 7日 全国都道府県議会議長会表彰(県議10年以上)
昭和61年12月12日 岐阜県知事表彰(県議会議員11年以上)
平成 3年10月31日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員15年以上)
平成 2年12月 7日 岐阜県知事表彰(県議会15年以上)
平成 8年10月22日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員20年以上)
平成10年12月 1日 岐阜県知事表彰(県議会19年以上)

平成13年 6月25日 岐阜県議会議員永年在職者表彰(県議会議員25年以上)

平成13年11月 1日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員25年以上)

平成14年12月 3日 岐阜県知事表彰(県議会議員23年以上)

< 松野幸昭氏の主な功績 >

岐阜県議会議員として

1 議長、副議長及び議会運営委員会について

民主的な議会制度の確立、地方財政の健全化、住民負担の軽減、住民福祉の向上等、多くの難題を抱えた県政に直面し、終始冷静な態度でその処理にあたり、よくその重責を果たし献身的な活躍を続けた。

2 総務委員会について

極めて深刻な財政危機の時期に特例公債依存体質からの脱却を重要な政策課題とし、行財政改革による徹底的な歳出の節減合理化を中心とした着実な財政再建に取り組んだ。

3 企画経済委員会について

経済関係において本県商工業の多数を占める中小企業が果たしている社会的、経済的役割に注目し、その振興に積極的姿勢で取り組んだ。

中小企業を中心とする地場産業主体の本県で、中小企業の環境への適応力を向上させ、また、企業誘致を推進することにより、活力ある地域経済基盤の確立を図るため積極的に諸施策の実施を唱えた。

4 厚生委員会について

高齢者及び障がい者が地域社会の中で家族や友人や地域の人々と生き生きとふれ合い、安心して暮らせる福祉社会実現のために各種の福祉施設が地域社会の中にバランスよく配置される施策を提唱した。

さらに、精神障がい者に対する医療費給付や交通費助成等の保健福祉サービスの立ち遅れを指摘し、精神保健サービスに携わるマンパワーの充実や精神障がい者社会復帰施設の拡充を積極的に推進した努力と功績には著しいものがあった。

5 農林、農林商工委員会について

生産基盤整備、農業の構造改善、農用地の利用の促進、農業の経営規模の拡大、農用地の地力の維持と培養、水田等農用地の高度利用及び機械化を進め、生産性の高い農業育成に尽力した。

さらに、生産の組織化、後継者の対策、農業の啓発運動の展開、新しい農業技術の開発及び普及という施策を展開し、農業生産の増大に大いに貢献した。

また、林業の振興について、県土の保全、水源林の涵養といった公益的機能など総合資源としての森林整備、森林管理の適正化、活力ある山林の育成、県産林の生産、流通体制の整備に尽力した。

畜産と耕種農業と組み合わせ、畜産経営の安定化にも積極的に取り組み、人間の創意と工夫によって自然食品に近いものを消費者に供給することが農業本来の使命と考え、消費者をしっかりと抱え込むような農業の展開を求め続けた。

6 文教警察委員会について

心身ともにすこやかで豊かな情操とすぐれた創造力を持つ青少年を育成することは教育の基本であり豊かな郷土づくりの根源であるとの信念で教育の振興に大きく貢献した。

高校教育についてみると、県下高校生の教育に任じている私学教育の重要性に鑑み、運営費の助成増大に努めるとともに、新たに施設、設備費の一部助成に尽力するなど私学の振興に貢献した。

生涯教育推進の基盤となる社会教育についても、公民館の建設、公民館を中核とした地域活動の強化、社会教育指導者の養成等に尽力した。

また、警察関係では、交通事故の増大に対応するため、交通規制の推進、交通取り締まりの強化、交通安全施設の整備を図るとともに、交通安全教育の推進、運転者講習の充実等に大いに努力した。

7 観光対策特別委員会について

優れた自然景観、現代にいきづく歴史的遺産、誇り高い地域文化などの全国有数の観光資源を有し、かつ国土の中央に位置して東西交通の要衝にある地理的利便を併せ持ち、観光立県を目指した本県において、観光資源の保存、観光地住民の快適な生活環境の整備、観光地域の浄化などに十分配慮しつつ、地域の発展に役立つ観光振興をめざして努力を続け、自然環境の保全と調和、観光資源としての文化財、民族資料の保存並びに調査など観光に関する重要問題の解決にあたった。

8 公害対策特別委員会について

全国に誇る我が県の恵まれた自然環境も、経済発展とともに徐々に大気汚染、水質汚濁等の影響を受け、良好な生活環境の確保が困難となっていた。これら県民の健康な生活を阻害する公害問題の解決に献身的な努力を払った。

また、公害発生施設の改善を図るため、中小企業を対象とした融資制度の創設に努めるなど公害発生の未然防止にも積極的であった。

さらに、市町村における公害防止対策を推進するため、公害防止機器にかかる助成制度を充実させ、本県の良好な環境維持に果たした功績は高く評価された。

9 国際化対策特別委員会について

世界のふれあい広場を目指して、米国ユタ州へ議員訪問団を派遣するとともに、中国江西省とも多面的な交流を図るなど、人と人、人と自然の共生を信念として、草の根の国際交流を積極的に推進した。

また、日米親善岐阜県議会議員連盟の会長として、日本と米国との相互理解並びに友好親善の増進に寄与することを目的として、毎年、米国の要人を本県に招き、講演会を主催するなど親善交流の機会を積極的に設け、国際交流に鋭意尽力した。

10 情報通信技術対策特別委員会について

IT先進県を目指す本県において、IT活用による県民生活の向上、産業の活性化、情報リテラシーの向上と人材育成、情報通信基盤の整備等様々な情報化施策の推進に積極的に尽力した。